

授業概要

科目名		日常生活活動学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
基本的動作やより実践的な技術を習得し、各疾患におけるADLの特徴を理解する									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義と実技でおこないます									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
日常生活活動学における基礎知識の習得 各疾患におけるADLの特徴を理解する									
回数	講義内容								
1	ADLと諸制度								
2	住宅環境について								
3	周辺環境について								
4	各種疾患と福祉用具の関連								
5	各種疾患と福祉用具の関連								
6	移動補助具について								
7	移動補助具について								
8	生活環境の評価と介入								
9	脳卒中とADL								
10	脳卒中とADL								
11	脊髄損傷とADL								
12	脳性麻痺とADL								
13	関節リウマチとADL								
14	切断とADL								
15	内部障害とADL								
16	神経筋疾患とADL								
17	神経筋疾患とADL								
18	生活指導とADL								
19	生活指導とADL								
20	生活指導とADL								
21	高齢者における転倒								
22	高齢者における転倒								
23	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版					鶴見隆正		医学書院		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験にて評価する。									